

2026年10月3日(土)
13:30 ~ 15:30

ハイフレックス・シンポジウム

申込時に選択

【対面】昭和女子大学 コスモスホール
東京都世田谷区太子堂1-7-57
田園都市線三軒茶屋駅より徒歩7分
【オンライン】Zoom ウェビナー

参加無料

＜プログラム＞

報告1：東京遷都はなぜ実現したか—思想的背景と政治過程

重松優

(近代文化研究所所員・昭和女子大学国際学部国際日本学科准教授)

報告2：「東京」誕生の舞台裏—江藤新平の果たした役割

星原大輔

(公益財団法人大倉精神文化研究所研究部研究部長)

報告3：東京奠都論—江戸から東京への実相

町田明広

(神田外語大学外国語学部国際コミュニケーション学科教授)

パネルディスカッション

東京遷都は、明治維新时期における諸改革のなかでも、国家体制の根幹を変えた最重要政策でした。なぜ、新政府は京都から東京へ都を移さねばならなかったのか、本シンポジウムでは、東京遷都の提案者であった大木喬任と江藤新平に焦点をあて、政策決定の背景とプロセスを考察します。さらに、明治政府の中核で佐賀藩出身者が果たした役割と政治的位置づけについて、維新史研究の最新の視点から明らかにします。

【申込み：2026年9月30日まで】
右のQRコードまたはアドレスから
<https://forms.gle/eKmm7Gd4DEF8LF3NA>



主催・問い合わせ

昭和女子大学近代文化研究所

E-Mail : kinbun-admi@swu.ac.jp

電話 : 03 - 3411 - 5129

後援 佐賀県

「東京」の誕生と明治維新

大木喬任、江藤新平とその周辺

昭和女子大学近代文化研究所 第七回公開講座

